

### 平成21年度

# 町の家計簿を

## 公表します

平成21年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。

皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

また平成17年度から5年間の行財政改革プランを策定し、毎年度、着実に実行した結果もお知らせします。

まだまだ、日本の経済状況と同様に、町の財政状況は依然厳しい状況下であり、健全な財政基盤の確立を目指すため、今後もより一層効率的な行政運営に努めていきます。

### 一般会計

歳入総額は、27億7584万4千円（前年度比5.8%増）、歳出総額は、25億3020万3千円（前年度比5.2%増）で、実質収支額は2億3631万1千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は、1億4483万7千円を積み立てましたので、年度末の基金残高

は、6億1798万1千円となりました。

### 歳入

歳入の28.7%を占める町税収入は、法人町民税の落ち込みにより、4871万6千円（前年度比5.8%）減となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は、8億6

### 歳出

048万8千円で5347万8千円（前年度比6.6%）の増となりました。地方交付税と町税で60%を占めています。

国庫支出金は、地域活性化事業や定額給付金事業等により1億9659万8千円（前年度比180.4%）の大幅増となりました。

歳出を性質別に見ると、人件費（職員の給与や議会議員の報酬等）、補助費、物件費などの経常的経費が19億6187万円で、全体の77%を占めており、道路の整備などの事業を行うための投資的経費は1億6878万8千円で、全体の6.7%となっています。

平成21年度に実施した主な事業は下記のとおりです。行政改革プランによる人件費や物件費等の経常的経費の削減に努め、起債（町の借金）を控え堅実な財政運営を行った結果、普通会

計における経常収支比率（経常的経費に充てられた毎年経常的に入り、自由に使えるお金）の割合は、1.8%改善し、89.4%になりました。しかし、依然として高い常態で、財政構造の弾力性を失っていることから、持続可能な財政運営のため更なる経費の削減を図っていかねばなりません。



### 平成21年度に実施した主な事業

- 定額給付金事業 1億288万円
- 町道武田古原線道路改良事業 5,110万円
- 町道並木郡根岸線道路改良事業 1,978万円



通学路も広がり、安全になりました。

### 基金の推移（一般会計分）

